



校長室だより No.4

短冊に願いを込めて

7月の全校朝会で、七夕にまつわる「〇×」クイズを行いました。

- ①たなばたは漢字で「七夕」と書く。これは、七日の夕方という意味である。
- ②仙台などの七夕祭りでは、竹に飾りを飾るが、七夕の日に食べる物といえば、「タケノコ」が有名である。
- ③七夕の日にそうめんを食べることは 1000 年も前から行われていた。
(②の答えがわかってしまいますが…)
- ④「♪五色の短冊～♪」とありますが、短冊の5つの色は「赤・黄・桃・緑・紫」である。

正解は、①〇、②×：そうめん、③〇、④×：赤・黄・白・青・紫 です。いくつ正解したでしょうか。

さて、5色の短冊は、右表のように色によって叶う願いごとの種類が違ふそうです。そして、全校朝会でお話したことをきっかけに、子どもたちは、この5色を意識しながら短冊に願いごとを書いていました。子どもらしい純粋な願いごとばかりで、ほっこりとした気持ちになりました。

赤：家族の健康、先祖への感謝を示す

黄：よい人間関係を願う

白：約束やきまりごとを守る

青：成長を願う（できるようになることも）

紫：勉強ができるようになることを願う



七夕かざりに願いごとを飾ったら今度はその願いごとを叶えるために自分ができることを考えて行動に移すことが大切です。つまり、願いごとを書いて、それで終わりにしていたら、願いごとはいつまでたっても願い事のままであり、決して叶うことはないということです。子どもたちには、具体的な行動のめあてを持ち、願いごとが現実になるよう行動を起こし、努力してほしいとお話しました。私たち大人も短冊に書いたことを実現できるように頑張ります！

・将来の夢はガソリン屋です
・将来、恐竜博士になれますように
・シェフになれますように
・ご飯をたくさん食べて成長しますように
・個人メドレーで一分三五秒をだして、ス
・イチリンの市でできますように
・みんなとずっと仲良くいられますように
・みんなで百点とりたいです



今年もお蚕様がやってきた!!



「蚕様おる～」 「かわいい～」と登校してきた子どもたちがお蚕様のテーブルの前で足を止め、愛おしそうな眼差しでお蚕様を見たり、掌にのせたり…。7月1日の朝、白峰小学校ならではの光景にとっても嬉しい気持ちになりました。

白峰では、保育所でもお蚕様を育てており、今年も保育所のご厚意でお蚕様を分けていただきました。子どもたちにとって、大切な白峰の伝統文化である養蚕や牛首紬について体験したり学んだりすることは、とても重要なことです。保育所でお蚕様をお世話した経験がある子どもたちばかりなので、とても慣れた手つきでお世話をしてくれています。「静かにして。桑を食べると音がするよ」「黄色くなったら糸を出すよ」「繭を作る前にしかおしっこせんよね」等々、専門家のような会話に毎日驚かされ、同時に体験することの価値の大きさを再認識しているところです。

お蚕様を通しふるさと白峰のすばらしさを学び、地域を誇りに思う気持ち、地域を愛する気持ちをますます育んでいきたいと思います。

